

2025年度 学校評価アンケート結果について

～落ち着いた生活の定着と、次なる学習課題への挑戦～

保護者の皆様、今年度も学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。集計結果から、南中学校の生徒たちが着実に成長している姿と、今後さらに学校と家庭が連携して取り組むべき課題が鮮明になりました。

1 学習活動：家庭学習の習慣化と自己評価の変化

- **家庭学習の習慣化(肯定率 60%維持)** 家庭学習への前向きな取り組みは前年度の水準を維持しており、学習習慣が一定程度定着していることが伺えます。
- **基礎定着への意識(87% → 72%)** 「基礎的な内容の定着」への自己肯定率は昨年度より数値が下がりましたが、これは学習内容の難化に伴い、生徒たちがより客観的に自分の課題を捉え始めた「学びの深まり」の表れと捉えています。
- **ICTの積極的な活用** 前年度からの流れを引き継ぎ、タブレット等のICT機器を授業内で効果的に活用することで、高い教育効果を実感する声が多く寄せられています。

2 生活指導：清潔で規律ある落ち着いた生活の定着

- **落ち着いた学校生活の維持(肯定率 84%維持)** 本校の強みである「落ち着いた学校生活」は、今年度も高い水準を維持できています。
- **校内整備や校内美化(保護者肯定率 93%)** 昨年度に引き続き90%以上の高い水準となり、「環境が人を作る」という経営理念の下、清潔で潤いのある落ち着いた生活環境を維持できています。
- **きまりとマナーの向上(88% → 93%)** 「学校のきまりを守る」意識が向上したほか、「挨拶をきちんとする」項目も89%と高く、良好な対人関係が築かれています。
- **ネットマナーの進展(保護者肯定率 70% → 73%)** 課題であった情報モラルについても、ご家庭でのルール作りや見守りの成果により、保護者の皆様の実感が着実に高まっています。

3 学校行事・部活動：高い意欲と達成感

- **生徒の主体的な取り組み(肯定率 92%)** 体育祭や音楽祭などの行事に対する意欲は非常に高く、生徒の9割以上が積極的に取り組んでいます。
- **保護者の高い満足度(95%)** 行事を通じた生徒の成長は、学校・家庭共通の大きな喜びとなっています。

4 今後の重点課題：家庭学習・読書・対話の充実

今回の結果を受け、本校では「確かな学力の定着(特に家庭学習の習慣化)」を重点課題としつつ、生徒たちの高い自己肯定感や社会性をさらに伸ばす教育活動を推進してまいります。さらなる成長に向け、以下の点について学校と家庭での連携を強化してまいります。

- **学習・読書習慣の再構築** 「自ら進んで家庭学習に取り組む(65%→60%)」や「自主的な読書(50%→45%)」については、特に第一学年で数値が下降しており、家庭における机に向かう習慣作りへの継続的な支援が必要です。
- **ネットマナーに関する意識のギャップ** ネットマナーへの肯定的意見は生徒89%に対し保護者73%と、依然として認識の差があります。スマホ等ネット利用のあり方について、家庭においてより一層の対話をお願いします。
- **迅速な情報発信の継続** 保護者満足度97%と高い評価をいただいている連絡アプリ「totoru」を活用し、今後も迅速な情報発信に努めます。

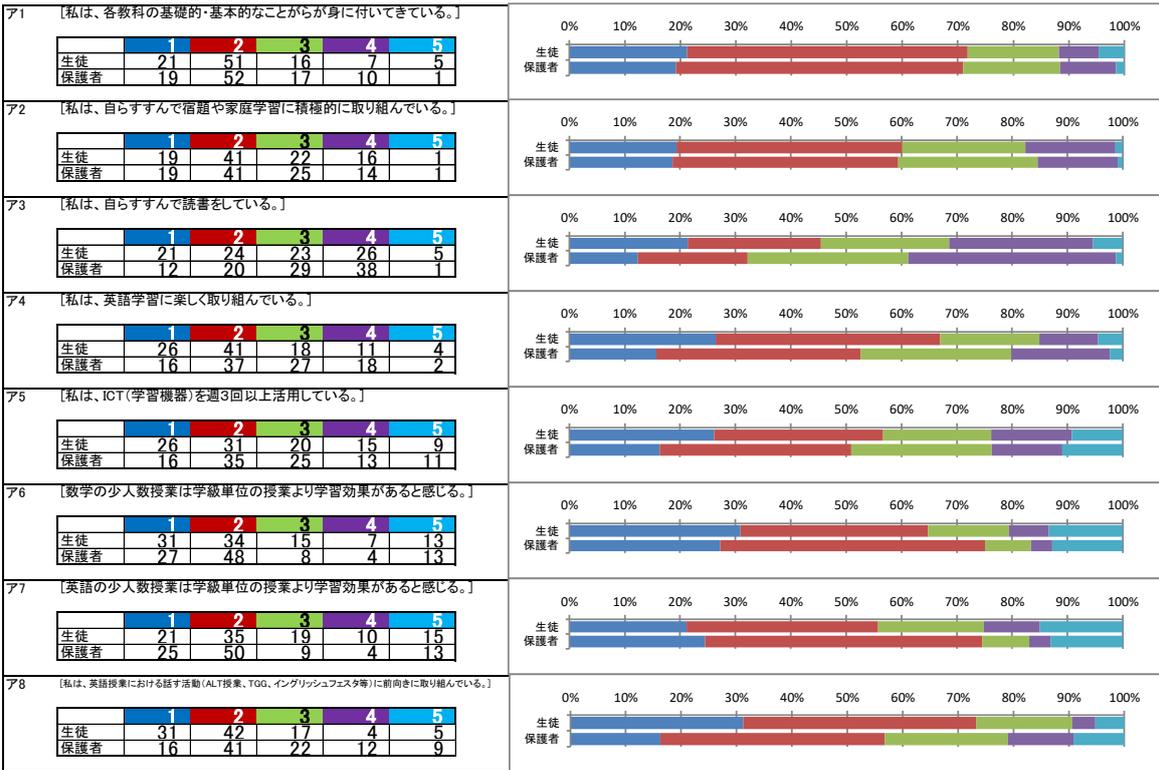
2025年度学校評価 生徒、保護者アンケート集計

凡例 (数字はすべて%)

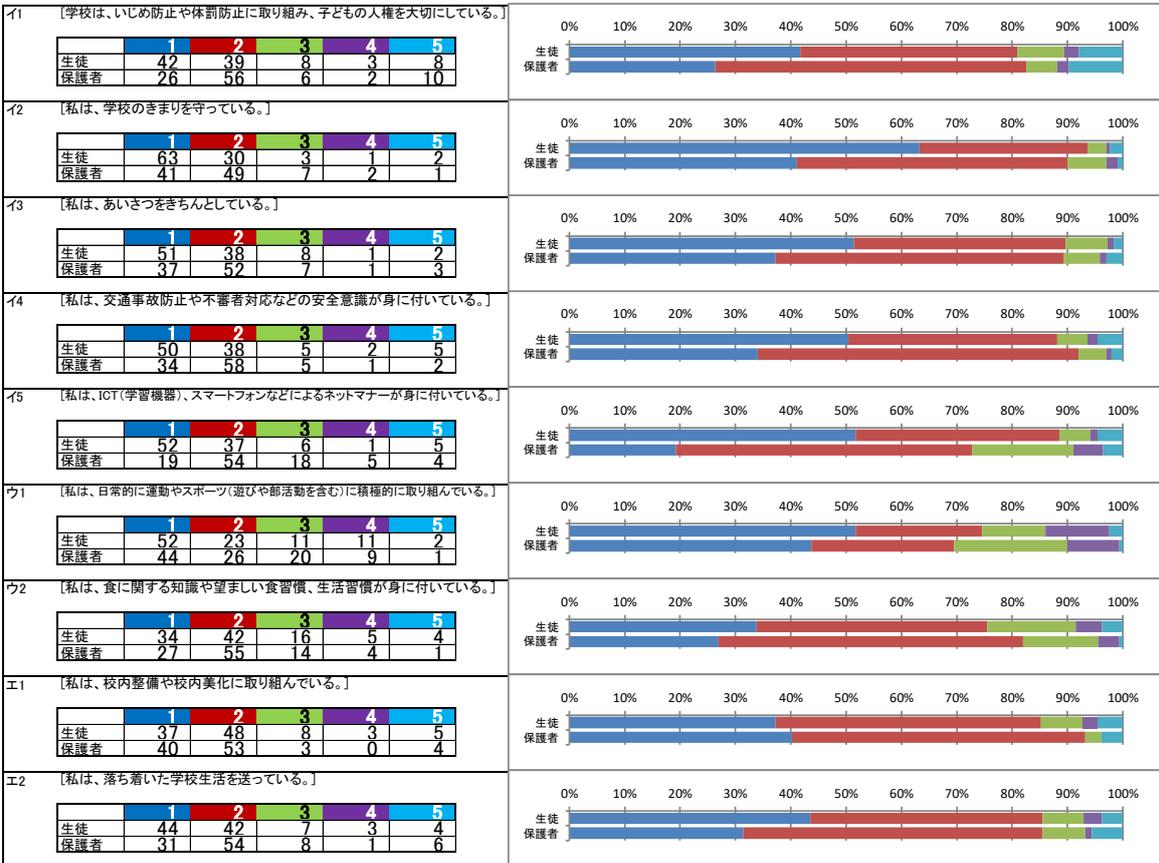
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5
1	2	3	4	5

1: 1 そう思う
2: 2 どちらかといえばそう思う
3: 3 どちらかといえばそう思わない
4: 4 そう思わない
5: 5 わからない

< I 学習活動などについて >



< II 生徒指導などについて >



< III 学校行事、部活動などについて >

